

北大産婦人科同門会 臨床セミナー（第47回）

プログラム

日 時：令和 3 年 5 月 8 日（土） 午後 3 時 30 分より

会 場：ニューオータニイン札幌 「北斗の間」

札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 電話 (011) 222-1111

主 催 北 大 産 婦 人 科 同 門 会
北海道大学医学部産婦人科学教室

北大産婦人科同門会 臨床セミナー（第47回）

座長 北海道大学大学院医学研究院
産婦人科学教室 教授

渡 利 英 道

「大震災から始まる物語」

東北大学大学院医学系研究科
産婦人科学教室 教授

八重樫 伸 生 先生

三陸海岸では歴史的に大きな地震による津波被害を繰り返し経験しており、その都度、震災復興事業が行われてきた。

2011年の東日本大震災後に東北メディカル・メガバンク事業が始まり10年が経過した。この事業では宮城と岩手の被災地住民15万人を対象として健康調査を行いながらコホートとして登録した。すでに始まっていた環境省のエコチル調査を参考にしながら、宮城県内の妊婦さんを中心に胎児とその兄弟姉妹の世代、妊婦の夫、さらには妊婦の親世代にも協力していただき、妊婦2万人、三世代全体で7万人の三世代をリクルートする計画を立てた。コホート参加者から集めた生体試料は、血漿、血清、尿、母乳、臍帯血、血球から抽出したDNA、EBウイルスで不死化した細胞などがあり、その種類によってそれぞれ適切な設備に保管し、さまざまな研究者からの将来の資料や情報の分譲依頼に応えることとした。検体数が多いため手作業だけの管理が難しいことから、検体の分離から保存まで全自動ロボットが保管・管理を行えるように整備した。生体試料は各種の網羅的なゲノムやオミクス解析にかけている。情

報としては、性別や生年月日、家族構成、既往歴など健康調査の際の基本情報の他、各種の質問票、たとえば精神ストレスや食事摂取状況など、回答に30から40分程度かかるアンケート調査の情報も収集した。生化学検査や、独自に行う呼吸機能や心機能、耳鼻科や眼科検診など14種類の生理機能検査の情報も収集した。また、歯科検診や全身 MRI 検査の結果も収集した。さらに、長期的な追跡調査を行うことから、発症した疾患の情報や、死亡した場合には死因についての情報も適宜捕捉することを継続している。

講演では現時点で集積されているベースラインデータの解析から明らかになったいくつかの結果について紹介する予定である。

八重樫 伸生（やえがし のぶお）

【学歴・職歴】

1984年 3 月 東北大学医学部医学科 卒業
1984年 4 月 東北大学医学部附属病院産科婦人科にて研修
1984年 6 月 東北大学医学部附属病院産婦人科医員（研修医）
1984年 8 月 八戸市立市民病院産婦人科医師
1987年 7 月 東北大学医学部附属病院産婦人科医員
1990年 2 月 米国フレッド・ハッチンソン癌研究所ポスドク（HPV ワクチン開発に関する研究）
1992年 2 月 東北大学医学部附属病院産科婦人科助手
1994年10月 古川市立病院産婦人科科長
1996年10月 東北大学医学部附属病院産科婦人科講師
2000年10月 東北大学大学院医学系研究科婦人科学分野教授（現在に至る）
2008年 4 月 東北大学大学院医学系研究科医科学専攻長（併任）
（2010年 3 月まで）
2008年 4 月 東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学寄附講座教授（併任）（2012年 9 月まで）
2009年 4 月 東北大学病院周産母子センター部長（併任）（現在に至る）
2009年 4 月 東北大学大学院医学系研究科周産期医学分野教授（兼担）
（2020年 3 月まで）

2010年 4 月 東北大学病院副病院長（併任）（2012年 3 月まで）
2010年 4 月 東北大学大学院医学系研究科周産期医療人材養成寄附講座
教授（併任）（2014年 3 月まで）
2010年 8 月 東北大学大学院医学系研究科環境遺伝医学総合研究セン
ター長（併任）（現在に至る）
2012年 4 月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構副機構長（併任）
（2015年 3 月まで）
2015年 4 月 国立大学法人東北大学副学長、東北大学病院長（併任）
（2019年 3 月まで）
2015年 4 月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 機構長特別補
佐（併任）（現在に至る）
2019年 4 月 国立大学法人東北大学総長補佐（併任）（現在に至る）
2019年 4 月 東北大学大学院医学系研究科長・医学部長（併任）
（現在に至る）

【受 賞】

2000年 1 月 東北大学医学部奨学賞金賞
2016年 4 月 平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
（科学技術賞開発部門）

【主な所属学会・役職等】

日本産科婦人科学会常務理事、日本婦人科腫瘍学会監事、宮城県対がん
協会副会長、日本臨床細胞学会評議員、日本産婦人科手術学会名誉会員、
日本癌学会評議員 等